

～発表～

第7回生物多様性国際自治体会議

～生物多様性への取り組み～

及びその関連するパビリオン

サミット: 2022年12月11日と12日 | パビリオン: 2022年12月8日～18日

#7thSummitCOP15

参加への関心をここに表明してください

イクレイ（ICLEI）はパートナーとともに、カナダ・ケベック州モントリオールで開催される第7回生物多様性国際自治体会議とその関連するパビリオンに地方政府・自治体を招待することを嬉しく思っています。本サミットは、生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）の公式サイドイベントとして、生物多様性条約事務局（SCBD）、Regions4、開催地のケベック州政府及びモントリオール市と共催で開催されます。サミット及びパビリオンは、ケベック州政府がメインスポンサーとして財政的な支援を行っています。

このサミットとパビリオンは、ポスト2020年の新しい生物多様性世界枠組（GBF）に対して、各国政府や都市からの貢献が大幅に強化されることを歓迎する、前例のないグローバルなマイルストーンとなります。生物多様性のための行動を起こすことに焦点を当てたサミットは、2022年12月11日と12日にパレ・デ・コングレ（ブルーゾーン）で開催され、3つの要素「Engage（参加）」「Influence（影響）」「Act（行動）」の3つの要素を中心に行われます。CBDのCOPで初めて、地方政府・自治体の行動と機会だけに焦点を当てた専用のパビリオンが設置されます。このパビリオンでは、COP15期間中の12月8日から18日まで、様々なイベントが開催される予定です。



生物多様性に関するイニシアティブ、プロジェクト、パートナーシップ、および生物多様性のために行動する都市や地域の積極的な参加とプロファイリングを希望される方は、biodiversity@iclei.org にメールを送信してください。

参加への関心をここに表明してください

第7回生物多様性国際自治体会議： 生物多様性のために行動する 2022年12月11～12日

第7回生物多様性国際自治体会議は、各国政府や都市が生物多様性に関するインスピレーションを与える取組や解決策、成果を共有・実証し、マルチレベルの野心や関与を測定可能な行動に結びつけるために、行動を起こし、コミットメントすることを目的としています。

この歴史的な行動指向のサミットの成果は、主催者により、CBD-COP15 ハイレベルセグメントにおいて、地方政府・自治体からの統一メッセージとして正式に発表される予定です。

サミット共催

第7回生物多様性国際自治体会議は、イクレイ（ICLEI）が主催し、生物多様性条約事務局（SCBD）およびRegions4と共催、さらにカナダ政府、ケベック州、モントリオール市がサミット開催地として参加します。

この画期的なサミットとパビリオンは、メインスポンサーであるケベック州政府の支援を受け、世界中の締約国、準州政府、都市、そのリーダー、ネットワーク、パートナーが、直接またはオンラインで、貢献し積極的に参加することを歓迎します。



第7回生物多様性国際自治体会議のテーマと目的

この会議は、3つの要素を軸に開催されます。会議は、「参加」「影響力」「行動」の3つの要素を中心に構成されます。会議は、より持続可能な未来のためにコミュニティと自然を再び結びつける行動である、世界中の生物多様性の保護、回復、強化のためのローカルな行動を発表、強化、賞賛するものです。

会議では、新しいプロジェクトや多国間の発表を行うとともに、世界的なCitiesWithNatureやRegionsWithNatureパートナーシップなどのイニシアティブを紹介し、地方や地域の政府が、自然のために、自然とともに、測定可能な方法で意欲的な行動やイニシアティブを約束し共有するためのプラットフォームを提供します。

また、この会議は、生物多様性への脅威の削減、生物多様性と生態系サービスの持続可能な利用と利益共有を通じた人々のニーズの充足、さらには地域や地方におけるツールやソリューションの導入など、新しい世界生物多様性枠組（GBF）のターゲットとアクションに取り組むユニークな機会を提供することになるでしょう。

サブナショナル アンド シティーズ パビリオン: 2022年12月8～18日

CBD-COP で初めて、地方政府・都市の行動と機会に焦点を当てた専用パビリオンが設置されることになりました。これは、GBFの実施に向けた地方政府・自治体の重要な貢献に対する生物多様性コミュニティの認識の高まりを明確に示しています。

パビリオンでは、エキサイティングで充実したデイリープログラムを紹介し、各国政府・都市とそのパートナー、条約締約国が、自らの活動を紹介し、他の参加者から学び、システムベースのアプローチに焦点を当て、生物多様性、気候、水セキュリティ、食料セキュリティ、汚染と廃棄、循環経済、雇用創出とのつながりを作る機会をこれまで以上に提供する予定です。

パビリオンでは、条約締約国、各国政府・都市、その関係者、国際機関、国連機関、金融・投資機関、ビジネスセクター、科学・研究セクターが、緊急に必要とされている変革的变化をもたらすための行動やソリューション、融資機会、パートナーシップ、生物多様性や自然を活用した解決策への投資について、様々な関与機会、発表、祝典、二者会談、綿密な検討を行うことが可能です。

[#7thSummitに参加](#)

生物多様性国際自治体会議の背景

サブナショナル政府や都市は、現在人類が直面している気候変動、生物多様性の損失、汚染の3つの主要な連動した問題であるトリプルプラネタリ-クライシスの最前線に位置しています。これらの課題に対処するための政策の枠組みや目標は世界レベルで決定されますが、その実行は地方や州レベルで行われます。生物多様性の損失や生態系の劣化、破壊を食い止めるための変革的な行動は、このような場所で行われる必要があります。

ICLEIは、生物多様性条約事務局（SCBD）、生物多様性条約締約国会議（COP）の各国・地域主催者、および Regions4 などのグローバルパートナーと共に、2008 年から生物多様性条約 COP とサイドイベントとしてあらゆるレベルの地域政府・自治体向けのサミットを開催してまいりました。このサミットは、条約締約国にとって、条約の目的・目標達成への貢献がますます重要視される中、地域・地方政府・自治体、その主要なネットワーク、パートナーとの連携を図るための重要な場となっています。

Copyright (C) 2022 ICLEI Cities Biodiversity Center. 全著作権所有。

これらのメールの受信方法を変更したいですか？
[設定を更新したり](#)、[購読を解除したり](#)できます。